

【日々の研修コラム】



7月13日(水)の教師寺子屋では、室井教諭、根本教諭から「学習評価のポイント、意義」について、具体的な実践から学ぶことができました。

どの参加者も、日々の疑問や悩みを解消したい、自分の授業をさらに向上させたいという思いで、熱心に話を聞いたり、実際に取り組んだりしました。

【参加者の声】

○両プロが共通して言っていた事、「評価する事が自分自身の授業改善につながる。」生徒の姿が、自分の授業の姿・・・「鏡」なのかなと思いました。向き合います！！

○「生徒を見とる」、発言や動き、ワークシートなど、それぞれの方法があるが、次につなげるために記録を残したい。単元案がんばります、評価まで！！

○学習評価となると、その時の授業の様子を思い出して、評価することが多かったですが、今回のお話を聞いて、授業の中の生徒たちの一瞬、一瞬を見逃さないように、ワークシートや板書、発問等を記録として残しておくことが、本当に大切だと改めて考え

させられました。評価(目標)を前提に、引き出す工夫をしていきたいと思います。○普段、自分が行っている評価とは、別の視点から評価をしたり、考えたりすることができることが分かりました。素晴らしい研修です！ありがとうございました。

○学習評価を行うことで見えてくるものがあるということで、私も早くその領域に行けるように頑張りたいです！

○実践者の言葉を聞くと「やってやるぞ！」と思えます。まず、やることですね。私も自分のやり方を見つけていきたいです。かっこよかったです！プロの単元案、読み応えありそう楽しみです！これからも教えてください。よろしくお願いします。



今後も、生徒の学びを応援するために、“先生方の学びたい”を応援し、今後も高め合っていきたいと思います。